

令和元年

11 月号

No.601

法音

今月の
ご法話

今を賢明に生きる

日蓮宗
法音寺



知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音

令和元年十一月号「601」

■目次■

【信仰の指針】唯心ゆいしん 人の一生は心の持ちようです

1

【朝のこない夜はない】

今を賢明に生きる

山首 鈴木正修

2

■講日のご案内

■有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

■身延山布教隊唱題行脚のお知らせ

■まんが・法華経七諭の話・良医治子の譬え

■「良医治子の譬え」について

■ここのはの記 知恩報恩

■のりのね体験 いま・昔

■信教師セミナー・育成合同研修会・災害支援部会

■支院だより

■福祉のひろば

○はぐくみ・ふれあい・よりそい

○昭徳会・福祉総合フェスタ「World of Welfare」を開催

○【特別寄稿】日本福祉大学社会福祉学部

スカラシップ制度入学生学園長特別講演会

■賛助員ご芳名

■幸せの種まき／編集後記

■連載まんが・ひまわり・82 夢で見たあの世

■書籍のご紹介

■法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・ダリア

掲載写真

表紙・信仰の指針・3

15頁…梅田雅臣氏撮影
2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

唯ゆい心しん

人の一生は心の持ちようです

日教五



シュウメイギク



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

いま けんめい 今を賢明に生きる

『一夜賢者経』という大変短いお経があります。このお経は次の「一夜賢者の偈」と、お釈迦さまによる懇切な解説とでできています。

「過ぎ去れるを追うことなかれ。

いまだ来らざるを念うことなかれ。

過去、それはすでに捨てられたり。

未来、それはいまだ到らざるなり。

されば、ただ現在するところのものを、

そのところにおいてよく観察すべし。

揺ぐことなく、動ずることなく、

それを見きわめ、それを実践すべし。

ただ今日まさに作すべきことを熱心になせ。



たれか明日死のあることを知らんや。

まことに、かの死の大軍と、

遇わずというは、あることなし。

よくかくのごとく見きわめたるものは、

心をこめ、昼夜おこたることなく実践せよ。

かくのごときを、一夜賢者といい、

また、心しずまれる者というなり」

詮ずる所は、過ぎ去ったことを、いつまでもくよくよ

してはいけない。まだ来ぬことを取り越し苦労してはいけ

ない。それよりも、冷静に現在するところのことを、よく

観察して揺ぐことなく、ただ今日まさに作すべきことを実

行せよ。それが人間として最も賢明な生き方である」とい

うことです。

「今を賢明に生きよ」というのがお釈迦さまの教えなので



株式会社ことほぎ代表で博多の歴女として有名な白駒妃
登美さんという方がおられます。

白駒さんは「今を賢明に生きる」を見事に実践されてい
ます。

白駒さんは慶応大学を卒業後、日本航空の国際線の客室
乗務員として働き、退社後、結婚し二児の母となります。
しかし、程なく子宮頸癌を発症し、二年後には肺に転移。
この時、主治医から次のように言われました。

「正直に申し上げますね。この状態で助かった人を、いま
で私は見たことがありません」

この日から、小学校に入学したばかりの息子さんの寝顔
を見ては、涙ぐむ夜が続いたといいます。

そんな時、日本の歴史や文化のすばらしさを綴っていた
白駒さんのブログを本にしたという出版社が現れました。

本なんて書いている場合じゃない、という気持ちと、



もし本^{ほん}当^{とう}にこの世^よから消^きえてしま^いうのなら、今^{いま}まで生^いきてきた証^{あかし}に本^{ほん}を遺^{のこ}してから死^しにたい〴〵という気^き持^もちが半^{はん}々^{はん}だったそう^いです。悩^{なや}んだ末^{すえ}に、子^こども達^{たち}への遺^{ゆい}言^{ごん}のつもりで本^{ほん}を書^かこう〴〵と決^{けつ}意^いをし^ました。

日本^{にほん}の歴^{れき}史^しを改^{あらた}めて紐^{ひも}解^とき、先^{せん}人^{じん}達^{たち}の生^{しょう}涯^{がい}と向^むき合^あっていく中^{なか}で、特^{とく}に病^{びよう}気^きを抱^{かか}えた身^みという共^{きよう}通^{つう}点^{てん}から、正^{まさ}岡^{おか}子^し規^きから大^{おお}きな勇^{ゆう}気^きをもらいました。

子^し規^きは、明^{めい}治^じの文^{ぶん}学^{がく}者^{しゃ}で武^ぶ家^けに生^うま^れたことを誇^{ほこ}りとし、武^ぶ士^し道^{どう}への憧^{あこが}れを抱^{いだ}き続^{つづ}けてい^ました。そし^て、武^ぶ士^し道^{どう}における覚^{かく}悟^ごとは何^{なん}だろ^う?〴〵と自^じ問^{もん}自^じ答^{とう}し、ある日^ひ、一^{いっ}つ^つの結^{けつ}論^{ろん}を得^えました。それは、武^ぶ士^し道^{どう}における覚^{かく}悟^ごとは、い^いつ^つい^いか^かなる時^{とき}でも平^{へい}然^{ぜん}と死^しね^ることである〴〵とい^いうもの^もです。

しか^しか^しそ^の後^ご、子^し規^きは若^{わか}くして脊^{せき}椎^{つゐ}カ^リエ^スに罹^かります。



この病氣は脊髄を結核菌が侵し、激痛を伴います。その痛みに耐えかねた子規は、何度も本気で自殺を考えましたが、その苦しみの中で子規は気づいたのです。

本當の覚悟とは、どんなに痛くてもどんなに苦しくても、生かされている今を平然と生きることだ。死を迎えるその瞬間まで、与えられた一瞬一瞬を感謝して生きることこそが覚悟である。

覚悟を決めた子規は、死を迎える数時間前まで執筆活動を続け、日本の近代文学に多大な影響を与えました。

白駒さんは子規のこの生き方を見習おうと決意し、過去の後悔や未来への不安を手放し、今を感謝して生きること集中しました。

すると毎晩ぐっすり眠れるようになり、さらに肺にできた腫瘍がすべて消えてなくなりました。以来、白駒さん



はこの時の気づきを先人の志とともに伝える講演活動を続け、現在、年間二百回の講演依頼があるそうです。

白駒さんは言われます。

「過去や未来を手放し、生かされている今に感謝する。この死生観を持つことによってかけがえのない今を楽しく幸せに生きることができるとです。心一つなのです」

今を賢明に生きている方をもう一人紹介したいと思います。それは、右腕のないプロゴルファー、小山田雅人さんです。小山田さんの実家は精肉屋さんでした。お母さんが仕事で忙しく、ふとした時に2歳の小山田さんをテーブルの上に置いたそうです。そのすぐ側に肉をミンチにする機械が置いてありました。小山田さんはこの機械に右手を入れてしまいました。この事故で肘から下を切断することになったのです。本人にその記憶はなく6歳くらいの時に初



めて事故のあらましを聞き、「そうだったんだ。生まれつきなかったのかと思っていたよ」とお母さんに言われたそうです。

小山田さんは右前腕がないのですが、スポーツ万能で、まず小学校で始めたサッカーではすぐに頭角を現し、ジュニアサッカーの県代表に選ばれました。その後、野球をやっていたお兄さんに憧れ、サッカーをやめて野球を始めました。右前腕がないので左腕一本でバットを振ります。最初は左打席で打っていましたが、当たっても全くボールが飛びませんでした。先生に「右打席でやらせてください」と頼んで、右打席でバットを振ると外野手の頭上を軽々と越える当たりが打てたのです。中学時代はエースで四番、県大会で2位になりました。片腕でエースの四番。すごいことです。そして、甲子園を夢見て地元の有名高校に進学したのです。しかし、入部早々に野球部の監督から「片腕



では選手は無理だから、マネージャーになれ」と言われ
ました。ガツカリして、野球部をやめて、その高校も中退
てしまいました。そして、別の高校に入り直したのです。
その後、高校を卒業してから栃木県庁の職員になるのです
が、もともとゴルフを家族でやっていたこともあり、ゴル
フが好きでゴルフ場の会員となり、そのゴルフ場のクラブ
チャンピオンになりました。次には栃木県のアマチュア選
手権で2位になり、障がい者の日本オープンで優勝し、世
界障がい者選手権前腕切断の部で七度優勝しています。
小山田さんは社会人になって二十五年間勤め上げたら、
本当に自分がしたいことをしようと考えていたそうです。
それが二十五年経つ前、38歳の時に仕事中に突然、頭の左
部分に痛みを覚えました。30秒程でスツと治ったので、普
通なら見過ごすところですが、血管が詰まりやすい家系だ
った小山田さんはすぐに検査入院しました。血管は大丈夫



でしたが、脳腫瘍が見つかり、ステージ2の癌でした。普通の人ですと、片腕で、今度は脳腫瘍か。自分は本当に運が悪いなと落ち込みそうですが、そんなことはありませんでした。しかし、手術をしても早晚、死ぬかもしれないと思っただけです。その時に奥さんが娘さんを妊娠したことがわかり、子どもにお父さんの記憶を残したい。父親が生きた証を残しておきたい。それには県の一職員よりプロゴルファーの方が記憶は強まるだろうと考えたのです。やはり普通の人ではありません。

プロゴルファーになる決意をした小山田さんですが、手術で左側頭葉の七割を取り、記憶の一部を失い、さらに体重も20キロ減ったのです。それまで片腕で270ヤードくらいボールを飛ばしていたのですが、200ヤードくらいしか飛ばなくなりました。「やっぱり駄目か…」と思わず弱音を吐くと、奥さんが「何を言っているの。また鍛えた



「わからないわよ」と言って励まし、野球のマスケットバット（素振り用の重量のあるバット）を買ってきてくれました。それを左腕一本で三年間振り続けました。すると体重も体力も元に戻って、前よりも飛ぶようになったそうです。そして、見事プロテストに合格して、プロゴルファーになりました。

しかし、またアクシデントが小山田さんを襲いました。今度は心筋梗塞です。心臓の30パーセントが壊死しました。それも不屈の精神で克服し、以前より飛距離を伸ばしているといえます。現在はプロゴルファーとして、レッスント講演で全国を飛びまわっています。

このレッスンの評判が非常に良く、「雅人マジック」と言われているそうです。教え方が上手で優しく、「小山田さんに教えて欲しい」という人が列をなしているということです。



ある時、脳梗塞で倒れたアマチュアゴルファーが来てレッスンを受けました。脳梗塞をされた方はどちらか半身が不自由になり、小山田さんと同じように片腕でしかスウィングができません。その人は、脳梗塞後に小山田さんに教えてもらってからベストスコアを更新し「奇跡だ」と喜ばれたそうです。そういう生徒さん達に小山田さんは言われるそうです。

「人は人生において絶対に目標を持つべきです。年齢や体力や病気に関係なく、目標を持ち、それにチャレンジ（挑戦）をするのです。下を向いてはいけません」

小山田さん自身のこれからの目標は世界障がい者ゴルフ選手権で総合優勝することだそうです。前腕切断の部で七度優勝されていますが、片足切断の部など全部門合わせた中で優勝がしたいということです。さらにシニアのプロツアーに出ることも目標にしています。実際に予選会にチャ



レンジされました。予選通過はなりませんでしたが、この時、また新たに発症した脳梗塞を克服されてのチャレンジでした。小山田さんにはもう一つ大きな目標があります。来年、東京でパラリンピックが開催されますが、ゴルフはまだパラリンピックでは正式種目にはなっていません。パラリンピックでゴルフが正式種目になるまで頑張って、それに出場することです。

小山田さんは言っておられます。

「ないものを嘆くより、あるものに感謝しましょう。私は右前腕をなくし、左側頭葉の大部分をなくしました。しかし、残った左腕と右脳に感謝して今やっています。人間は誰でも人生でいろいろなものをなくしますが、なくしたものではありません、今あるものに感謝して目標をもって、前を向いて進みましょう。必ず道は開けます。幸せになれます」
今を賢明に一生懸命に生きる。すばらしいことです。



良い教えの話聞きましよう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき、

教えを心にしみ込ませましよう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

京都支院	11月9日(土)	四日市支院	11月13日(水)
東京支院	11月23日(土)	大阪支院	11月24日(日)
明川支院	11月30日(土)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	2日・16日・23日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	10日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・30日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・9日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0568)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・18日・23日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	5日・15日・24日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(059)352-3633
四日市支院	2日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	2日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	10日・24日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	16日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	2日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	9日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・23日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	7日・10日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・17日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	9日・24日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	2日・17日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	9日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	3日・15日・17日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	10日・24日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	10日・24日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・10日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	11日・24日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

身延山布教隊 名古屋行脚

※身延山で修行中の
鈴木廣修上人が来られます

唱題行脚

令和元年11月7日(木)

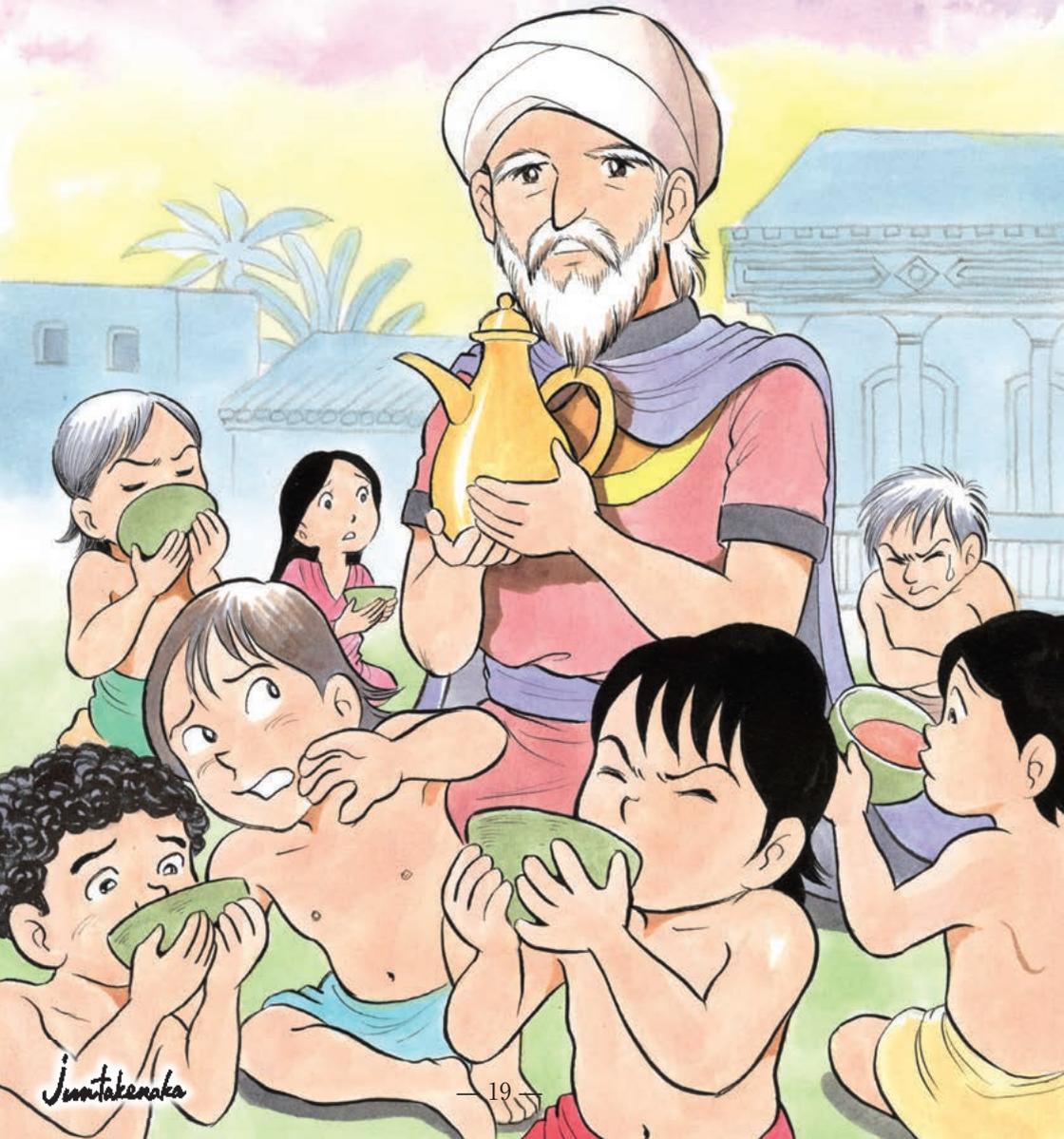
法音寺 出発 午前11時

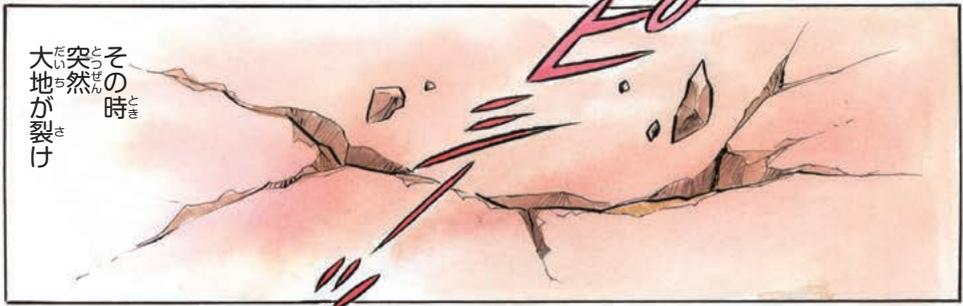
法音寺 到着 午前12時 (到着時のお迎えをいたします)

ほけきょうしちゆはなし
法華経七諭の話

にょらいじゅうりょうほんだい
如来寿量品第十六

ろ り い じ し た と
良医治子の譬え







しかしなぜ
過去世において
仏が亡くなつては
また現れるのか…

その譬え話を
しよう



ある国に
すくれた医者があり
彼の薬は
どんな病気でも
治した

その医者には
大勢の子どもが
いた



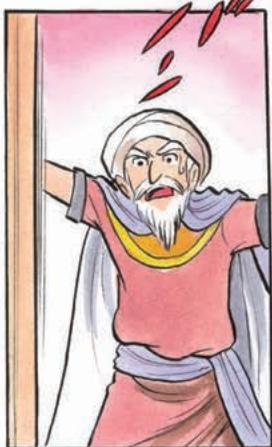
だ
だ
だ
だ
なんさま
たいへんで
ございます
お子さま達
が!!

いったい
どうした
のだ



今
もどつた

ある時
所用で外国からもどると…

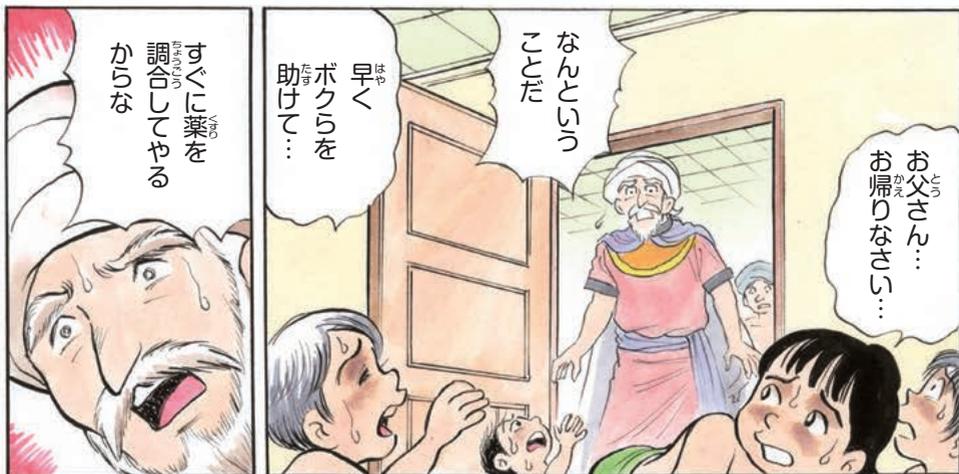


申し訳ありません
私が
ついていながら

これは
毒薬のにおい
じゃないか!!



む!
なんだ
このにおい…



すべに薬を
調合してやる
からな

早く
ボクラを
助けて...

なんとどうも
ござい

お父さん...
お帰りなさい...



すべに
薬になる

さあ
この薬を
飲みなさい



どうした?
おまえ達も
飲みなさい
楽しい薬なんだから
薬になるぞ

ああ
いい子だ

おいしい
...うん

苦くないぞ

きれいな色...
香りも
いいね



強い毒で本当のことが
わからなくなつて
しまつているのか…



いやだあ
色も悪いし
苦そうだもん

飲めない
よ



しかたが
ない…

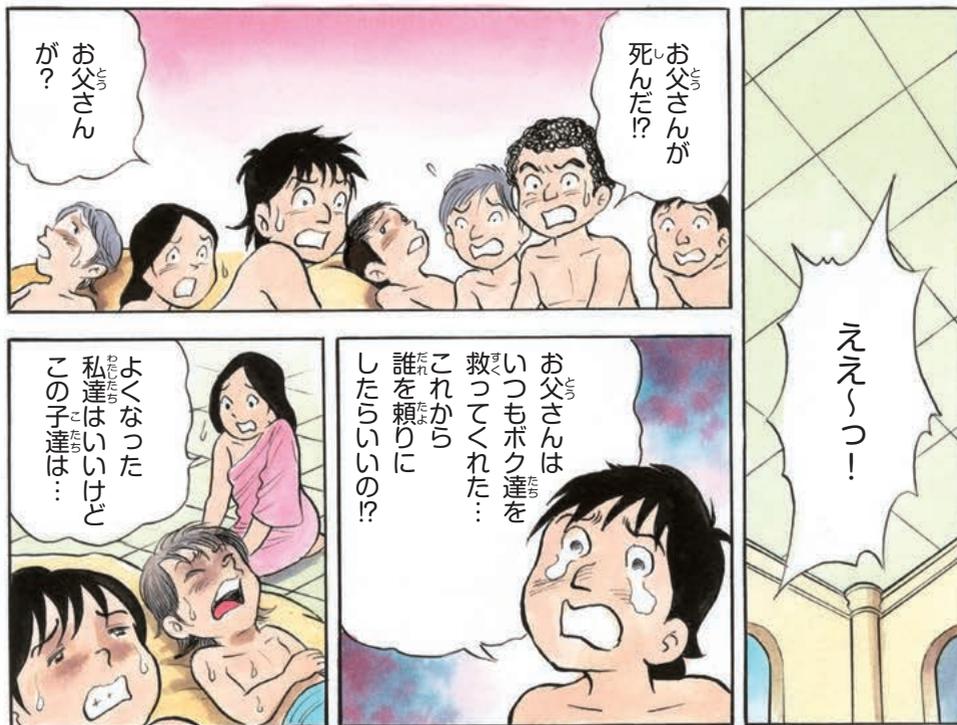


子ども達も
よく聞きなさい
私は年老いている
死期も近い…
しかしまだ他国に
やり残してきた
仕事があり
今から出かけねば
ならない

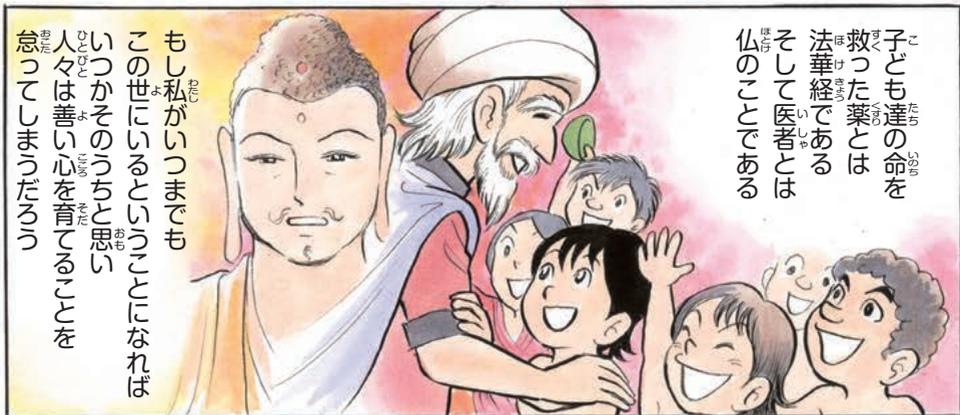


心配する
ことはなし

おまえ達のために
用意した良薬を
置いていく
必ず治るから
本当に困つたら
飲みなさい
いいね

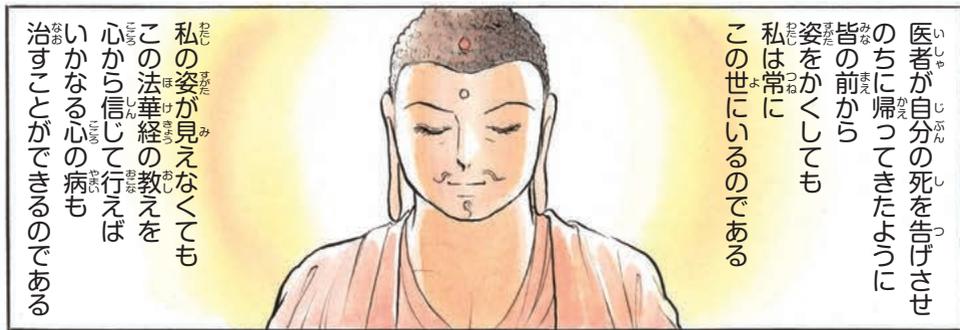






子ども達の命を
救った薬とは
法華経である
そして医者とは
仏のことである

もし私がいつまでも
この世にいらるということになれば
いつかそのうちを思い
人々は善い心を育てることを
怠ってしまつたらう



医者が自分の死を告げさせ
のちに帰ってきたように
皆の前から
姿をかくしても
私は常に
この世にいらるのである

私の姿が見えなくても
この法華経の教えを
心から信じて行えば
いかなる心の病も
治すことができるのである



私はすべての人々が
仏になれるよう
いつも願ひ
導いているのである

おわり

「良医治子の譬え」について

仏教をこの世に広められた釈尊は、インドの一つの国の王さまである浄飯王の子としてお生まれになり、成年して出家され、難行苦行を重ねられて成道されました。

その後、五十年にわたる説法を続けられ入滅されたのですが、実は久遠の寿命を有した本仏が、私達衆生を憐れんで、人の身となり、私達の間に見えて教化されたのです。釈尊がこのことを宣言し、説かれるにあたって教えられたのが、良医治子の譬えです。

ある国に名医がいました。そしてその医者には大勢の子ども達がいました。ある時、他の国へ用事があって行っている留守に、子ども達全員が知らずに毒薬を飲んで



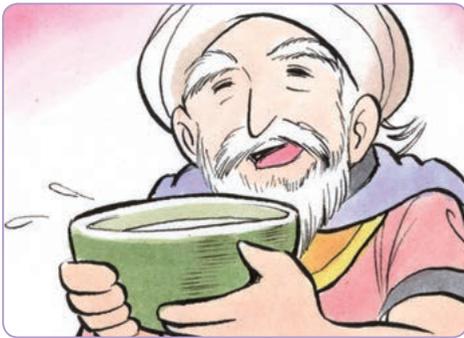
しまいます。折よく用を済ませて帰宅した医者は、すぐに解毒剤を作ります。その薬を飲んだ子ども達は苦しみがなくなり治りました。しかし、毒が深く回った子ども達は、父親の作った薬の効果を疑い、飲もうとしません。

医者は、一つの手段を講じ、子ども達に向かって言います。

「今からもう一度他国へ行かなければならないが、旅先で死ぬことがあるかもしれない。その時は、皆協力して暮らしていきなさい。ここに最上の薬を置いていくから、病気になった場合は必ず治ると信じて飲みなさい」

医者はそう言い残して旅に出て、人に頼んで自分が死んだという便りを家に届けさせます。

この便りを受け取り、子ども達は皆嘆き悲しみ、今さらのように親のありがたさを知ります。



そして、それまで疑って薬を飲まなかった子も、父の遺した薬を心から信じて飲んだので、すっかり病が治りました。医者である父親はこれを待っていたのです。この知らせを受けた父親は、やっと安心して家に帰り、子ども達に自分の元気な姿を見せ、親子共々喜び合ったのです。

最上の薬とは「是好良薬」といって、最も尊い法華経の教えです。医者が自分の死を子ども達に告げたのは、釈尊のご入滅にたとえ、もし仏が入滅してもこの世に留め置いた法華経を心から信じて行えば、いかなる心の病も全治して、楽しい境遇で暮らすことができるのだと説いているのです。

釈尊は久遠の寿命を有した仏さまです。入滅された後も、すべての人々を見守っていてくださるのです。

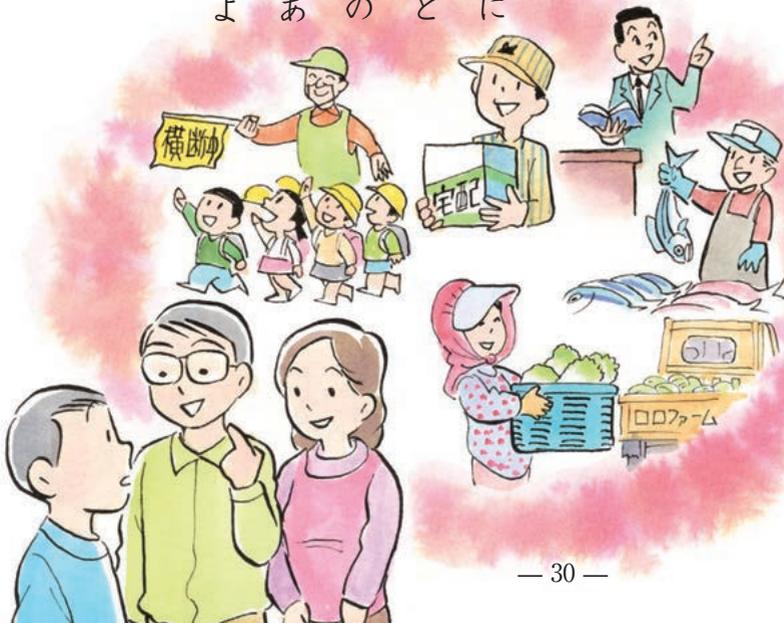


とくのはの記

知恩報恩

「知恩報恩ってどういうことなの？」

「恩という字は心の上に因があるだろう。因は、今ここに
いることの原因。つまり、恩とは、原因に心を向ける」と
いうことなんだ。今こうして生きているのは、自分一人の
力ではない。大勢の人々のお世話になっているから今があ
る。そして、恩を受けているのは、人からだけではないよ
ね…」



「一日生きるには一日分の食べ物が必要だけど、その食べ物
物は多くの生きものの命をいただいて得たものなのよ」

「日本語の『いただきます』は、生きものに対する感謝を
表す言葉でもあるんだよ」

「感謝して食べなければ、命を差し出してくれた生きもの
たちに申し訳ないね」

「命のないものにも支えられているのがわかるかい？」

「命のないもの…」

「太陽・空気・水といった自然界の恵みがなければ私達は
生きることができない」

「確かにどれ一つとっても、生きるには必要ね」



「そして、人間は若いから死なないということはないんだよ。いつ死が訪れても不思議ではない…」

「若くして亡くなる人もいるわね…」

「それなのに今日をこうして生かしていただいている」

「生きていること自体ありがたいことなんだね」

「でも、自分一人が喜んでいるだけでは意味がない」とお上人がおっしゃっていたよ」

「どうということ？」

「自分の得た喜びを、どうやって行いに顕し、人に伝えるかが大事なんだって」

「どうすれば良いのかな…?」



「仏さまの世界に生かしていただいて、法華経を聞く縁を得られた喜びを人に教え、導き、自分にできることで社会のために尽くすこと。日常生活の中で、役割や仕事を通して、みんなの役に立つ働きをしましょう。言葉で、笑顔で、心で、行いで、とにかく相手の人の喜ぶようなことをしていくこと。それが生かしていただいている喜び、法を聞き得た喜びに対する報恩です。そしてこのことが親の恩・師の恩・社会の恩に報じることになり、さらには仏さまや法華経に対するご恩報じとなるのです」（日達上人述）

私達は多くの人や動植物、自然の恵みによって生かしていただいています。いつも感謝の心を忘れず、少しでもその恩に報いるために力を尽くしていきましよう。



のりのね体験

いま・昔

“良い種をまかねばならぬ”と悟りました

中根 せき(昭和8年 出世の葉31号)

私の家は代々真宗であります。お寺に参りまして、時々説教を聞きましたが、この会のお話のように、怒ることは一番悪いことで地獄に墮ちるもとだ〴〵ということは、未だ一度も聞きませんでした。まことに気楽な良い宗旨だと思っておりました。なおまた信仰は、老人のするものだのみ思っておりました。図らずも修養団の方々より、仏教の真の意味を挙げて聞かせていただきました。初めて精神の修養をするのが信仰であって、片時も仏教を離れて生活のできないことを知らせていただきました。常に腹立たないようにすれば、不和の家庭も必ず平和となることもよくわかりました。私は仏さまの本当の心を知らせていただいて、地獄で仏に逢ったようなうれしい心持ちがしました。それ以来、どうにか腹を立てない生活を実行しようと思心しました。

さて、良いということは承知いたしましたが、実行することはなかなかおぼつかしいのです。そこで私が思いましたのは、速やかに実行するには、〴〵良い悟りをしなければならぬ〴〵ということですが、どうか良い悟りをしたいと、そう思いつつも数カ月も暮れてしまいました。良い悟りも思いつきません

でした。そこでまた考えました。これは夜となく昼となく、妙法蓮華經と唱えて、諸天善神に悟りを教えていただくこうと、目を開けている間は、一生懸命お題目を唱えました。ちょうど苗代に稲をまくときのことでした。ふと思いつきました。こうして種をまけばこそ秋にはたくさん米がとれる。もしも今種をまかなかつたなればどうか。まかずとも雑草は生い茂るであろう。日々の行もまたまたこのように、良い種をまいてこそ幸せも得られる。それに善い悪いも知らずして、良き種をまくことをしなかつたなれば、雑草のそのの如く、必ず悪い種がまかれていて実に恐ろしいことである。日々の行も、農事をするのも同じことである。どうしても良き種をまいて、雑草を取り去り、耕作し、肥料を施してこそ良き収穫を得る。私は今まで妙法という良き種をまくことを知らずして、怒りたい性分だということで腹を立ててきたが、実に恐ろしいことであった。今日限り腹を立てることはやめよう。諸先生からのお話の如く、どんな辛いことがあっても良い方に解して、堪忍しようと決心しました。この悟りを夫にも話して、今では、ようやく堪忍が持てるようになりました。今まで怒れて怒れてしよりのなかつた私も、ついに腹が立たないようになりましたから、家庭は全く平和になり、喜びの日々を送ることができるようになりました。これひとえに妙法のお陰とありがたく思っております。

良い因縁になるよう三徳を実行します

東京支院 島中 信子

私は現在、神奈川県に住んでおりますが、実家は福岡県北九州市小倉にあります。明治時代より続

いた家は私達が相続しておりますが、遠方のために管理することがむずかしく、ずっと空き家となっていました。色々と考えた結果、家を解体することで話を進め、今回、主人と二人で家の片づけに行くとことになりました。

猪原上人とお庫裡さまから「土地、家一切因縁霊の成仏をお願いし、お題目を唱えてきたら良いですよ」とご教化いただきました。お題目を唱えながら、長年の思いが詰まった家を解体してしまうことに、申し訳ありません」という気持ちで片づけました。すると、畳の上に金粉が降っていました。

法音寺の檀家にしていただいたことで、ご先祖さまは安心なさっているのかな」と感じました。

その一方で、困ったことが起きました。3歳になる孫が熱を出したのです。「病院では風邪と診断されたものの、三日たっても四日たっても熱が下がらない」と娘から連絡がありました。病気で病気を消滅をさせていただきましたが、朝には熱が下がっても夜になるとまた熱が上がり、体に発疹が出てきたため、総合病院で受診したところ、「川崎病」と診断され、即入院となりました。

川崎病とは、乳幼児期に発症する病気の一つです。毎年一万人以上の子どもが罹っているとわれています。発熱や目の充血、唇の発赤、発疹など特徴的な症状が現れ、重篤な合併症である冠動脈瘤が残ると、長期的な内服薬の使用や運動制限などが必要となる場合があります。治療は心臓に対して合併症を残さないことを目的として行われます。

「今こそ大きな消滅ができるチャンス」と思いました。お上人から、「お孫さんは畠中家の因縁を受けていますから、お孫さんを施主にして畠中家一切因縁霊の成仏と川崎病早期快復のお徳願いを行っ

てください」とご教化いただきました。お庫裡さまからは写経用紙を送っていただきました。早速、家族皆にも協力を求め、写経とお題目を唱えることを始めました。

病院に行くと、小さな手に点滴の針が入り、孫が「なんだか手が変なの。痛い」と泣き出します。諸天善神・三先師・顕修院日達上人、山首上人さまにお徳をお願いして、お神通をかけました。お題目を唱えていると、孫はとても気持ち良さそうにしています。入院でのストレスもあり、夜になると泣いている様子でした。当初の予定では一週間の入院でしたが、お徳をいただいたお陰で、経過が良く四日で退院することができました。心エコーでは合併症である冠動脈瘤は見つからず、大難を小難にしていたいただきました。現在は二週間に一回通院して検査を行っています。今回のことですが、異常なく幼稚園の入園式を迎えることができました。今回のことで孫が島中家の大きな因縁を受け、私達家族の心を一つに導いてくれたに違いありません。

日々さまざまな困難が起りますが、このみ教えに会えたからこそ助けていただけることに感謝しています。これからも善根功徳を積み、感謝の心を忘れず、良い因縁になるよう慈悲・至誠・堪忍の三徳のみ教えを実行してまいります。



第19回信教師セミナー

全国信教師会

9月28日・29日、全国の支院・布教所より100名の信教師が本山に集まり、第19回信教師セミナーが開催されました。

本堂での勤行後、山首上人さまより「信教師セミナーは、研修と親睦の場ですから、信仰体験を語り合ってください」とのお言葉をいただきました。

その後、開山堂に移動。平賀・後藤上人より、詩人・坂村真民がお母さんから言われたという言葉をご紹介いただきました。「辛い時、苦しい時念ずれば花開く。愚痴を言うんじゃない。人の悪いこと言うんやない。心の中で念じよ。いつか幸せになれる。いつか花開く。そうして世の中渡っていけ」

休憩後、元劇団前進座・嵐圭史氏が「日蓮聖人御遺文・一人語り」をしてくださいました。

続いて、文書布教について伊藤内局委員より「本を使って信仰の宣伝を、ということです。先師の本を読むことは、その文字を通して師の教えを聞くこと。師がご自身の苦修練行の成果を、この私に直接語りかけてくださっていると読んで読んでいただきたい」とのお話がありました。また弓削多編集長からは『法音』10月号（創刊600号）に掲載された『法音寺と文書布教』という特集記事について説明がありました。

グループ討議では、「不易流行、次世代へどうすればつなげられるか」というテーマで、それぞれの家庭の

一人語りをされた嵐圭史氏



取り組みについてなど、活発に討議されました。

翌日は午前6時に起床。本山朝勤に合わせて7時より本堂でのお勤めです。

朝食後、山首上人さまが御開山上

信教師セミナー



人の福祉と教育事業の経緯をお話し
くださいました。

ご話の後、本堂の大階段にて参
加者全員で山首上人さまを囲んで恒
例の記念撮影が行われました。

続いて、開山堂で二名の信教師の
体験発表がありました。

静岡支院・高橋さんは、新庄上人
の「縁ある方を作るよう『法音』
を配布しましょう」とのお言葉を受
けて素直にそれを実行されました。
今まで何十軒と配られ、たくさんの
方を御開山会にもお連れしたそうで
す。

名古屋地区・春日井さんは、老々
介護を十四年されました。「愛別離
苦と言いますが、別離を愛する（慈
しむ）心で苦にならなかつた。それ
は法音寺三徳のお陰だと改めて感謝
しています」と話されました。

その後、4台のマイクロバスに分

乗し、日本福祉大学東海キャンパス
へ。到着後は4班に分かれ、大学の
担当者の案内で学内を見学。とても
明るく、勉学に励めそうなキャンパ
スでした。1階には御開山上人のお
写真とともに「建学の精神」が掲げ
られ、皆さん興味深く見ておられま
した。

その後、法音寺に戻り、本年度の
セミナーが閉会しました。

皆さん安心して帰途に就かれまし
た。
(通信員 田中悠子)



育成合同研修会

青少年育成委員会

少しずつ秋の気配が感じられるようになってきた9月15日、本山にて全国の各支院から育成部長・青年会リーダー・子ども会（母子会）リーダーが参加し、育成合同研修会が行われました。

大本堂での勤行の後、委員長・島田知教上人は「青年会・子ども会の活動を感謝して喜んでさせていただき、法を次の世代につなぎ、発展させましょう」とお話しされました。

午前の部では前原順徳上人の進行のもと「コミュニケーションスキルアップ研修・他己紹介」が行われました。相手のことを紹介する「他己紹介」では、二人一組になり、互いに相手のことを詳しく聞いて、その後同じ班の方に相手のことを紹介し

ました。初めは緊張感がありつつも、次第に趣味のこと、仕事のことなどを知っていくうちに打ちとけることができ、それぞれ和気あいあいと相手の話に耳を傾けていました。参加者は「青年会・子ども会で何度も会っているけど、もっと知ることができました！」「初めてお話ができ、育児について共通の話題があつてうれしかった」と笑顔で話されていました。

最後にお上人より「相手のことをよく知り、伝えようとする力はリーダーとしてとても必要なものです。今回体験して感じられたことをお寺に来られる方のために活かしてください」とお言葉をいただきました。午後の部では、これまで各支院で

作成、実行、検討を積み重ねた『会員増加目標達成シート』を全支院共通のものに集約するための話し合いが行われました。各支院の目標達成



臨時活動報告

シートをまとめて絞りこんだ15項目の方針をもとに、8班に分かれてディスプレイセッションが行われ、各支院代表のリーダー達は、それぞれの地域で違いはあっても、自分達は何ができるのかということを真剣に話し合

っていました。今回参加者によってまとめられた『会員増加目標達成シート』は、各支院青年会・子ども会の共通の指針としてこれから実行していくことになりました。

最後に、山首上人さまの教え「あ

災害支援部会

「あなたの役割は何ですか」「仕事は仏さまから与えられる特別なもの」のお言葉を振り返りました。研修会に参加したリーダー達は、さすがしい表情で本山を後にしました。
(通信員 松村純美 代 祖父江治子)

9月10日から12日の三日間、8月の豪雨で浸水被害にあった佐賀県武雄市にて災害支援活動が行われました。

大雨により福岡県の巨瀬川、佐賀県の牛津川・松浦川、長崎県の江迎川が氾濫、洪水が発生。福岡県南部や佐賀市などの市街地も広範囲に冠水、佐賀駅構内なども浸水しました。今回お手伝いするのは、床上浸水した二軒のお宅です。

11日は老夫婦のお宅の「庭の泥出

し」と「仏間の泥出し」でした。庭は3畳くらいの広さで、泥を出すのに植木を切ることになりました。お子さんが小さい頃に一緒に植えたという椿を一本だけ残して、すべての植木が切られました。仏間は家財道具が移動してあったので、畳下板と根太を外し、床下の泥出しが行われました。泥出しが終わると消毒のために石灰がまかれました。

後日、畳下板が乾燥したら、別のボランティアの方に取付けてもらい、

このお宅の依頼は完了となります。12日は家財道具の搬出、畳18枚の搬出、フローリング・畳下板の取り外し、床下の消毒、倉庫の整理などが行われました。

二日間とも非常に暑い日で、熱中症が心配されましたが、全員怪我もなく無事に活動を終えられました。少しでも多くの方のお役に立てるようにと、活動は継続されます。

(災害支援部会)

ひろば

福祉の



若いお父さん・お母さんのために

はぐくみ

ともだち

子ども達の世界では喧嘩やトラブルはつきものです。
なぜなら、それが子ども達の成長には欠かせないことだからです。

◆『喧嘩をすると優しい子になる?』

「玩具を取ってはいけません」

「仲良く遊ぼうね」

「順番でしよう」

こんな言葉を一度はお子さんに掛けたことがあるのではないのでしょうか。友達と仲良くしてほしい。優しい子に育ててほしい。と願うのは当然のことだと思えます。

しかし、三歳ぐらいまでは、相手の気持ちを思いやって行動することはむずかしいと言われていました。特に男



の子は人の気持ちを察するのが得意ではなく、自分の経験を通じて人の心の痛みを学んでいきます。喧嘩は傷つけ合うこともあるけれど、必要な経験です。喧嘩の経験のある子は、相手を思いやる優しい子に育っていきま
す。そうして社会を生きる力、コミュニケーション力を育てていくのです。
子どもの喧嘩には、つい口を出したくなってしまいますが、グツとこらえ
て見守ってみませんか。きっと子ども達は遅しく成長していくと思います。

◆ 『感情のコントロールがきかなくなった時の対処法』

子ども同士のトラブルの中で、「これ以上は危険！」と感じた時は、「も
うやめなさい！」ではなく、「頑張って言葉で言えたね」「悲しかったね」
などと子どもの感情を受け止めてあげると良いでしょう。すると「自分の
気持ちをわかってもらえた」と感じ、心が落ち着いていくと思います。

光徳保育園グループリーダー（主任保育士） 松浦 友美

「健康コラム」 「風邪予防に効果的な 三つの方法」

1. 手洗い・うがい・着替え
風邪が流行っている時期は、外からの菌を家に持ち込まないように着替えをするのも一つです。
2. 早寝・早起き
睡眠時間をしっかりとると、眠っている間に免疫細胞が活性化します。子どもの免疫力が高まり、自然治癒力をつけていくことができます。
3. バランスの取れた食事
健康な身体を作るには、栄養バランスのとれた食事が大切です。タンパク質とビタミンが不足しないように気をつけるの良いですよ。



純粹な心と笑顔にふれるために

ふれあい

ADHDってなに？①

「部屋が散らかっているのに片づけられない」

「小さい時にじっとしていられなかった」

大人になってから、ADHDと気づく人は沢山います。

「ADHD」という言葉をテレビや雑誌の中で目にする機会も増えてきました。前号の記事に書かれている自閉症やアスペルガー症候群と同じようにADHDも発達障害の一つです。正式名称を「注意欠如多動性障害」と言い、三つの特性や症状によってタイプが分かります。

- ①不注意 集中力が続かず、一つのことを続けて取り組むことが苦手
- ②多動性 じっとしていることが苦手で絶えず動いてしまう
- ③衝動性 気持ちのコントロールが苦手で、後先考えず言動や行動が出てしまう

男性と女性では比率に差があると言われており、若干男性が多いようです。また、ADHDといっても多動・衝動が目立つタイプと、不注意でぼんやりしているように見えるタイプでは表に見える様相が全く違います。そのため、それぞれのタイプによって「困りごと」も変わってきます。

原因はまだ分かっていません。ただ、子どもがじっとしてられないのは、保護者のしつけができていないのではありません。また、相手の気持ちを考えず発言してしまうのも、本人のせいではないのです。そして、その本人が一番苦しさを感じています。

このような話をすると負の印象が先行してしまいますが、逆を言えば「好奇心が強い」「エネルギーにあふれている」「挑戦が好き」など、良い面もたくさんあります。最近は企業の社長や有名人などがADHDであることを公表しています。彼らは自分の個性や得意なことを活かして可能性を広げているのです。

完璧な人なんて誰一人いません。私達一人ひとりに個性があるように、ADHDの方達もそれが一つの個性として認知されることが、社会での活躍につながるのではないのでしょうか。

授産所高浜安立 クループリーダー（生活支援員） 石本 麻美

～ ADHDが分かる本～



ADHDセルフチェック：<https://adhd.co.jp/otona/selfcheck/>

いつまでも穏やかな日々を送るために

よりそい

認知症ケアについて

パーソン・センタード・ケアとは

「パーソン・センタード・ケア」とは、英国の心理学者トム・キッドウッド教授によって提唱された認知症ケアの考え方の一つです。認知症高齢者を一人の人として尊重し、「その人の視点や立場に立って理解しながらケアを行う」という考え方について紹介したいと思います。

◆ パーソン・センタード・ケアの背景

認知症高齢者の生活歴や習慣、趣味や性格などの背景に着目し支援することで、悪化しているように見える認知症の状態も、改善できるかもしれません。この考え方が、その人、一人ひとりの視点や立場にたって理解しながらケアを行う、パーソン・センタード・ケアが生まれることになりました。

◆ 認知症の人の心理的ニーズ

パーソン・センタード・ケアを実践する上で、「認知症の方が何を必要とし、何を求めているのか？」といった「認知症の人の心理的ニーズ」を理解することが重要となります。そのためには「一人の人間として無条件に

尊重されること」を中心に、「共にあること」「へいこみ」「自分らしく」「結びつき」「たずさわること」という6つの観点が大切です。それを「花の絵」(下の図)で表現しました。

認知症の方が「自分らしくありたい」

「結びつきを持ちたい」など、自ら意思を明確に発することはむずかしいかもしれませんが、「なぜ、できないのか」「どうして、こちらの意にそぐわない言動があらわれるのか」を支援する側が理解し、相手の求めている要望を理解することが、認知症ケアを行う上でも、パーソン・センタード・ケアを実践する上でも重要となります。

認知症高齢者だけではなく、人と関わる中で相手のことを理解し、相手の立場になって関わるのが、認知症ケアの理解につながるかもしれません。



特別養護老人ホーム小原安立 ユニットリーダー(介護員) 石原 隆志

認知症高齢者を

理解する手がかり

認知症の方の言動を引き起こす原因となる「5つの要素」を理解することが大切です。

5つの要素は、

- ① 脳の障害
 - ② 健康状態
 - ③ 本人の生活歴
 - ④ 本人の性格
 - ⑤ 社会心理
- です。

これらの要素は、本人の性格や嗜好などを理解し、その人に合ったケアを探る際にも大切なものとなります。

福祉総合フェスタ「World of Welfare」を開催



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会

～ボランティアの協力のもと、子どもからお年寄りの方まで大賑わい～

9月29日（日）駒方保育園にて福祉総合フェスタ「World of Welfare」が開催されました。9月末とは思えない程の暑い日となりましたが、良いお天気に恵まれフェスタを行うことができました。

フェスタを企画した理由は、採用活動で学生と話をしている中で「昭徳会がどのような法人であるのか知られていない」「福祉業界のイメージが良くない」という状況を目の当たりにしたからです。成長産業である福祉業界の発展につなげることを目的として、「福祉の仕事に対する正しい情報の提供」「昭徳会の魅力の紹介」を行う場を設けていく必要があると感じ、職員採用委員会と人事部がタッグを組んで準備を進めました。

「昭徳会だからこそできること」に注目をし、各施設の協力を得て、来場者参加型の内容を考えました。保育、児童養護、障がい、高齢4分野の特色を活かして認知症予防の回想法やコグニサイズ（認知症予防の運動）、子どもに大人気のパネルシアター（絵が取り外せる布地状の舞台）、授産所高浜安立の『ぱりまるたません』、小原寮ワンダフル喫茶の再現、

プラバン（プラスチック板の小物）作り、就職相談を行いました。さらには株式会社エヌ・エフ・ユーにもご協力をいただき、福祉用具の展示やオリジナル介助箸を手作りするコーナーを設けました。そして来場者プレゼントとして手作り巾着や日本福祉大学オリジナル文具、授産所高浜安立の「ぱりまる」を用意し、皆さまにお配りしました。

当日は、鈴木正修理事長（法音寺山首上人）はじめ、お上人のご家族の皆さまも参加され、子どもからお年寄りまで130名を超える方々が来場され、とても賑やかなフェスタとなりました。子ども達が昔の遊びを体験したり、親子でプラバンキーホルダーを作ったり、福祉用具の相談をしたり、喫茶でのんびり過ごしたりと、会場は和



気あいあいとした楽しそうな雰囲気になり、会場は和

今回のフェスタでは、学生ボランティアを積極的に募集しました。理由は二つあります。一つ目は福祉業界をめざしている

学生と一緒に企画運営することで、昭徳会や福祉の魅力を学生の目線で紹介できること。二つ目は学生自身が未来の福祉をどのように創り上げていくのか考えるきっかけの一つにすることです。昭徳会職員、学生、駒方

察の児童、そして株式会社エヌ・エフ・ユー等、約50名のボランティアメンバーに主催者側でもあり参加者でもあることを周知し、全員が楽しめるフェスタをめざしました。来場者から「ボランティアの方が楽しそう！」との声をいただき、めざしているフェスタに近づくことができましたとうれしい気持ちでいっぱいになりました。

今回初企画のフェスタでしたが、多くの来場者、ボランティアメンバーのお陰で思い出の一日となりました。昭徳会として私達にできることは何かを考えたうえで、福祉業界の発展につなげていけるよう、これからも挑戦していきたいです。



法人本部事務局 事務員 古田 優佳

スカラシップ制度入学生学園長特別講演会 — 日本福祉大学社会福祉学部



日本福祉大学社会福祉学部では、2017年度からスカラシップ入試制度（成績優秀者の選抜試験制度）で入学した学生への特別教育を始めました。今年も8月8日に、学園長の鈴木正修先生に講師としておいでいただき、「学園創設者に学ぶ『ふくし』の精神」をテーマにご講演いただきました。

今、社会福祉・社会保障は大きな転換期を迎えています。しかし、いかなる時代であっても、弱い立場の方に寄り添い、行動するという建学の精神が色あせることはありません。私達社会福祉学部はこれからも、学園長の正修先生とともに、修学先生のご意思を受け継いでまいりたいと思います。

日本福祉大学社会福祉学部長 小松理佐子

鈴木修学先生の考え方を振り返る

行政専修 小林 倫

今回の特別講義は、日本福祉大学の創設者である鈴木修学先生のお孫さんである鈴木正修学園長先生による講義でした。話してくださったのは修学先生のこと、その生い立ちから活躍したことなど多岐にわたる話題でした。

小学校を卒業して家業を継ぎ、新しい事業で成功を収めた修学先生は、周囲とは違う考え方を持った方でした。周りの人と考え方を合わせているだけでは、自分は何も進歩せず何の役にも立たず一生を終えるかもしれない。周りの人に合わせない生き方もすばらしいことだと思いました。修学先生の生き方について聞いているうちに、私も人とは違う生き方をしてみたいと思うようになりました。

修学先生は人生の意味を求め杉山辰子先生と出会い、その後生涯にわたり人を救っていくことになりました。九州、名古屋と場所を変え、多くの人を救ってきた修学先生は、世間から頼られる存在になっていきました。修学先生は、困っている人からのお願いはすべて受け

入れる温かな心の持ち主で、その救済活動は、一定の分野に限らず高齢者・障がい者・ハンセン病患者さんなど多岐にわたりました。自分の生活が苦しくなっても、困っている人のために人生を費やしてきた修学先生は、思いやりにあふれた方と感じました。

修学先生は命果てるまで人生の意味を追い続け、昭和28年に建学の精神を定められました。修学先生が日本福祉大学を設立したきっかけが、杉山先生との出会いにとっても密接に関わっていたことを知るなど、とても大切なお話を聞くことができ、大変うれしく思いました。修学先生の考え方を忘れることなく、これから先を過ごしていきたいと思えます。

学園長の特別講義を受けての僕の目標

子ども専修 河合 祥汰

ハンセン病がまだ、天刑病、業病と呼ばれており、空気感染するというデマすら流れていた時代に、修学先生は患者さんに対して素手で看病されていた。その話を聞いたとき、〃僕は修学先生にはなれないな〃と思った。僕は噂で人を決めつけ、他人の評価だけで付き合う人を判断する行為が嫌いであるが、そんな僕で

も当時の状況だったら看病することに抵抗を覚えてしまふと思う。看病するとしても、汚いものを扱うかのように対応してしまふかもしれない。もし噂が本当だったら、僕も隔離され、差別的な扱いを受けるのではないかと考えてしまう。疑心を上手に隠しながら看病しようとしても、そのような心はちよつとした言動に表れてしまうものである。よつて僕は、そのような噂や偏見に踊らされることなく自身の信念を貫き、常に患者のことを第一に考え、身を粉にして看病に当たった修学先生に尊敬の念を抱いた。

僕も、自分の意見をしっかりと持ち、相手の立場に立つて物事を考え、他人のために一生懸命になれる力を、日本福祉大学で身につけたいと思う。修学先生は、福祉を専門として学んでいたわけではなく、実践の中で福祉を体感しながら学んでいらつしやつたそうだが、現代の福祉において、〃助けたい〃という気持ちだけで手を差し伸べることのできる範囲はとでも限られる。よつて、まずは先人達が積み上げてきたものを知識として吸収する、そんな一年にすることが、僕の一年次の目標である。

最後に、「大学が大きくなるということは、それだ

け社会福祉の考え方が世間に浸透し、世の中が良くなつていくということである」と正修先生はおつしやつた。僕はその言葉を受け、スカラシップ生の一員として、この大学の発展に貢献していこうと改めて決意している。

学園創設者に学ぶ建学の精神

子ども専修 花井 悠真

8月8日、学園長の鈴木正修先生から、「建学の精神」について、学園創設者である鈴木修学先生の学園創設のいきさつを交えて、特別講演をしていただきました。正修先生の口から紡ぎ出される修学先生の物語は、今の平和な時代を生きる身としては、どれもにかには信じられないものばかりでありましたが、その物語が進んでいくにつれて、修学先生の生き様に敬服するとともに、〃今を生きる身であるからこそ、心に刻んでおかなければならない話だな〃と強く感じました。

この講演の後、〃自分にできること・するべきことは何だろう〃と考えてみました。〃スカラシップ制度で入学した自分が、日本福祉大学でできることは何だ

ろう」と考えた結果、やはり「まずは「学ぶ」ことだ」と思いました。修学先生が建学された際も、福祉に携わる人材を育てるための講師の方々の選定に妥協を許さなかったために、経営が赤字続きだったというお話をしていたのですが、今もこの日本福祉大学には有名な先生が多数いらつしやり、その恵まれた環境で、しっかりと福祉を学び、現代の福祉の仕組みを知ることが大事であると考えます。そして、学びを続けていく中で、両立して何か社会のためにできることに取り組みたいと思います。

この講演を聞いてから、僕には目標ができました。それは、僕が今定期的に行っている児童養護施設でのボランティア活動を、四年後までに仲間達とともに行うことです。また、自分の活動だけではなく、仲間達の活動にも積極的に参加し、さまざまな分野への知識とつながりを増やしていきたいです。今まで「自分一人でもボランティアをすることに意味がある」とその次を考えていなかった僕に、このような機会を与えてくださってありがとうございます。

人々の幸せを願うこと

医療専修 大沼 凜和

鈴木修学先生についてのお話を聞き、最初に感じたのは大きな感動だった。人々の幸せを願うことは誰にでもできるが、それを実現することができる人はほとんどいないだろう。修学先生は実際にあらゆる人々の幸せを願い、その幸せを守るために奔走したのだ。この事実にはとても驚き、尊敬の念を抱いた。私から見た現代は、自分のことで精一杯の人であふれ、他人の幸せのために全身全霊をかけて駆け回る人は少数だ。誰もが幸せになれるはずの社会で幸せを掴めない、掴むことができない人が多くいる。修学先生はこういった理不尽な立場にいる人達にとっての希望のような存在だったのだろう。今回の講義で学ぶべきことは多々あった。今後に生かせるようなお話ばかりだったように思えた。

日本福祉大学は修学先生のたくさんの祈りが込められた場所である。「知的障がい者は仕事ができない。ただ生きているだけで良い」という風潮の中、修学先生はその考えを頭から否定した。「知的障がいを持つ

「いても仕事はできる」という意見を実行するために先生は考えられた。彼らに教育を施すには福祉の専門家の育成が必要だ。そうして、日本福祉大学は開校された。不幸せな人を見放すことは簡単だが、助けを求めて伸ばされた手を掴み、救うことはむずかしい。修学先生は、そういったすべての人々の手を掴むために日本福祉大学を創設したのだ。私達は修学先生の思いを受け継ぐ必要がある。今回の講義を受けたことにより、日本福祉大学に対しての思いがまた一段と高まった。

今回、講義として貴重なお話をしてくださった鈴木正修先生、本当にありがとうございます。これからにより一層、学業に励んでいきたいと思えます。

鈴木正修先生のお話を聞いて

医療専修 奥村 美咲

正修先生から修学先生のお話を聞いて、考えをもつだけでなく、行動にして世の中を変えていてすばらしい方だな〴〵と思いました。最もすごいなと感じたのはハンセン病患者の救済です。現在でもハンセン病に対する差別は全くないとは言いい切れなと思います。

調べてみると昔は酷い扱いをされていたと書かれていました。その中で修学先生はハンセン病患者としてではなく、一人の人間として向き合われました。それは簡単のように見えて、当時の社会の状況などを踏まえると本当にすばらしい行動です。世の中の差別をなくすことに大きく貢献したと思うし、ハンセン病患者の方も強く救われただろうと思います。

修学先生の人生は自分に正直で嘘をつかず、周りに流されない、本当に芯が強い方で素敵だと思いました。人を救うことが大事と杉山先生に言われ、当時経営していたパン工場を辞めて杉山先生に弟子入りしたことが人生の転機なのかと思うと、自分のできることを考えてそれに出会ったとき行動に移す勇氣はとても大切だと感じました。日本福祉大学の創設者がこのようなとても頼もしい、誰もが尊敬できる行動を貫かれたことはとても誇らしく、私も人を救うような行動をしたと思います。

また、赤字となっても大学を建て、多くの人が入りやすいよう、国立大学並みの給料、入学費にして福祉の専門家をつくるというとても思い切った施策も実行されました。本当に勇氣のあるすばらしい方だなと感じ

じました。

特別講演会をお聴きして

人間福祉専修 寺本 采花

この講演をお聴きして、特に印象に残ったのは、八事少年寮の話です。この話には自閉症の方が出てきました。それによると自閉症の方でもほめ言葉やけなし言葉はわかり、けなし言葉をかけられたときに怒りを行動で示されたそうです。私はこのことにとっても共感しました。

私は大学で知的障がい者の方の余暇支援を行うサークルに所属しています。支援を行っていく中で、障がい者の方とコミュニケーションをとることは重要なことです。うまく会話することができない方や言葉を発するのがむずかしい方など、会話でコミュニケーションをとることがむずかしい方がいます。しかし、ともに活動していく中で、私から挨拶をするとうれしそうな顔をされたり、また自分の嫌いな食べ物が出てくると嫌な顔をされたりします。言葉で会話することはむずかしいですが、相手の表情や行動から相手の気持ちを読み取って、心で会話しコミュニケーションをとる

ことが可能であると感じています。支援する側とそれを受ける側が互いに信頼し合えるように福祉のあり方を見直し、支援方法を考えていくことは今の福祉に必要なことだと考えます。

この特別講演会は、私の福祉に対する考え方を見直す大きなきっかけになりました。福祉は人と人が交わりあい、支えあっているものであることを再認識しました。

私は将来、福祉に関わる活動を行いたいと考えています。その時にこの特別講演会で学んだ、活動を行うにはまわりの協力も必要であること、言葉で会話するだけでなく相手の表情や行動から気持ちを汲み取り会話することの二つを心にとめておきたいです。そして、支援の提供が一方的ではなく、その利用者と双方向のやり取りをしながら適切な支援が行える環境をつくりたいと思います。



謹んでお見舞いを申し上げます

この度の台風で被害を受けられた

皆さまに謹んでお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧と皆さまのご健康を

心よりお祈り申し上げます。

大乗山 法音寺

編集後記

今月の支院だよりでは、各地の彼岸会の様子が報告されました。記事の多くには、台風を心配されたことが記されていました。近年の自然災害のニュースを見るにつけ、杉山先生の『災難を未然に防ぐ御守の心得』をみんなで共有すべきではないかと思うのです。

【福徳を受けるには】

《災難を未然に防ぐ御守の心得》より

第一、私達は蓮華が泥水より生じて、少しもその純潔を穢さざる如く、この濁世に在りて、常に高潔であらねばなりません。

第二、智慧なき者を軽しめ、侮るようではいけません。例えば、嬰兒に乳を与えるが如く親切に教え導かねばなりません。

第三、太陽が宇宙の万物を平等に照らすが如くに、己より自覚して、すべての人を慈悲の眼を以て視ねばなりません。

第四、法華経は、変応自在の法でありますから、昼夜退転なく南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経と唱えれば、必ず災難変じて福徳となるのであります。

法音寺三徳を信仰する私達です。原点に立ち戻り、日々の心を見つめ直そうではありませんか。



夢で見たあの世

竹中 淳





あれからどれくらい
時間がたったのだろう

やはりボクは
死んじゃったんだ

もうみんなには
会えないと思うと
急に寂しくなってきた



声がきけないし
肩をだいたり
手を握ったりもできないの？

みんなの温かい
ぬくもりも
感じられないなんて…

新入学



タケル！
死んじゃったら
本当に
なにかも
終わり
なのか？

そんなの
いやだ
あゝ！！



ああ…なんだか
もうろうとしてきた…

蓮^{れん}

えっ

だれ？
ボクを呼んだ？

蓮^{れん}…

これ以上こっちは
来てはいけないよ

いいから私に
ついて
来なさい

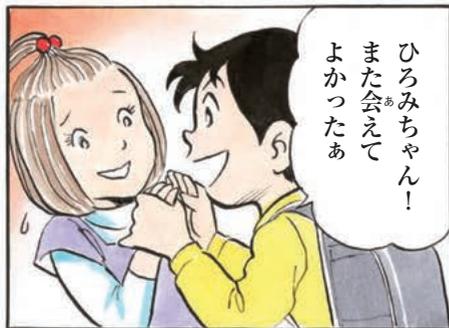
光^{ひかり}の方^{ほう}から
なつかしい声^{こゑ}が
きこえてきた

だれ
だろう

きいたこと
のある声^{こゑ}

その光^{ひかり}と声^{こゑ}に
みちびかれるように
闇^{やみ}の中^{なか}を必死^{ひつし}で追いかけた





ひろみちゃん！
また会えて
よかったあ



もう二度と
会えないかと
思ったよ
えっ！なに？
どうしたんだ？



これからも
ボクのことしつかり
叱ってくださいよ



皆さん
おはよう
先生！



やっぱり
変だ



さあ！
きょう一日
がんばるゾ！
頑張るゾ！



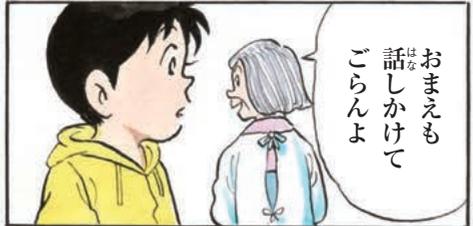
おじいさん
好物の
ガンモ
ですよ



お義母さん
仏さまにお供え
してくださいさる？
はいよ！
ありがとうね



あら
ガンモ？





元気
だったか？
蓮



ここがいい？



蓮
ここに
おすわり



ワシもううれしいよ
でも蓮

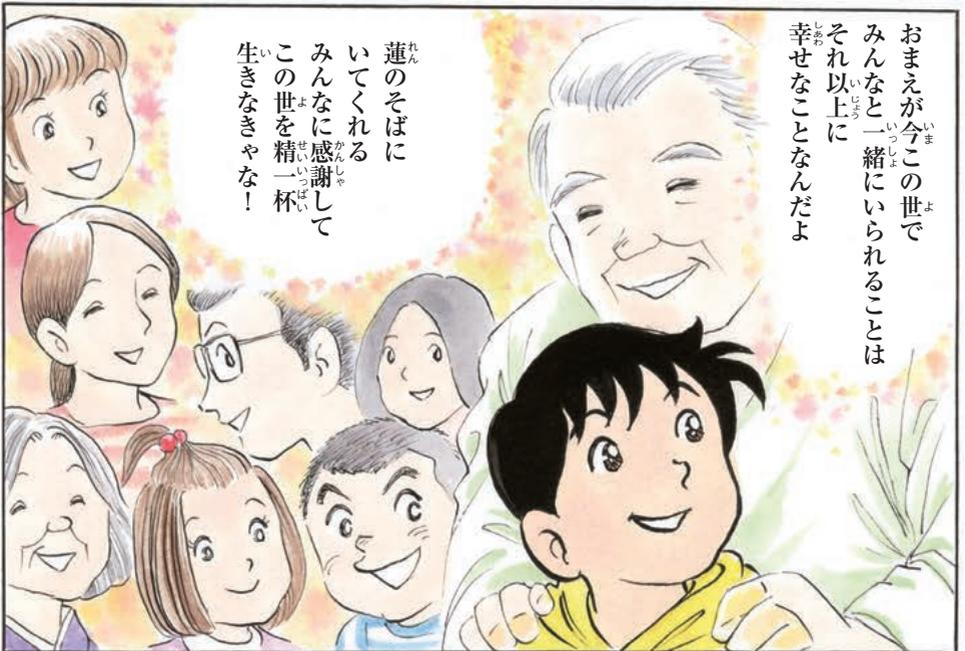


うれしいよ
じいちゃんのヒザの上で
話ができるなんて

それに背中からも
じいちゃんのぬくもりを
感じるよ！
あつたかーい



大きく
なったな
あー
まちがいなく
じいちゃんだ



おまえが今この世で
みんなと一緒にいられることは
それ以上に
幸せなことなんだよ

蓮のそばに
いてくれる
みんなに感謝して
この世を精一杯
生きなきゃな！

おしまい

書籍のご紹介

法音寺を
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラゝ

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三四五頁

定価一、〇〇〇円(税込)



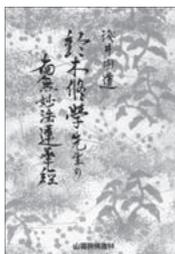
続現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三五二頁

定価一、〇〇〇円(税込)

仏教を
学びたい方へ



鈴木修学先生の
南無妙法蓮華経

浅井圓道著

山喜房佛書林刊

四六判/二百二頁

定価一、八一四円(税込)



妙法蓮華経略義

鈴木修学著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を
学びたい方へ



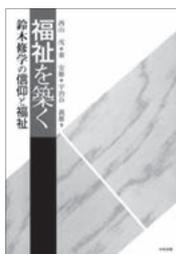
日本の福祉を築いた
お坊さん

星野貞一郎著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄

宇治谷義雄著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 自立援助ホーム
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和元年11月号・No.601・令和元年11月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社